

## News Release

2021年3月22日

報道関係 各位

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社

### コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス、 「準なでしこ」に3年連続で選定

さらなる女性活躍推進のために、女性管理職比率を引き上げ

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス（本社：東京都港区 代表取締役社長：カリン・ドラガン 以下、当社）は、女性活躍推進に優れた上場企業として「なでしこ銘柄」の「準なでしこ」に3年連続で選定されました。



「なでしこ銘柄」とは、経済産業省が東京証券取引所と共同で、女性活躍推進に優れた上場企業を選定するものです。「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって、魅力ある銘柄として紹介することを通じて、各社の取り組みを加速化していくことを狙いとしています。「準なでしこ」は「なでしこ銘柄」に準ずる企業として、より幅広い視点で評価する観点から選ばれるもので、当社は3年連続で選定されました。

当社は、社員一人ひとりの個性を尊重し、多様な価値観やアイデアを積極的に取り入れ革新を生み出し続けることが重要であるとして、ダイバーシティ&インクルージョンという考えの下、女性活躍の推進に取り組んでいます。2020年度には、働く時間や場所に捉われない柔軟な働き方を実現するために、コアタイムのないスーパーフレックス制度の導入やサテライトオフィスの拡大、営業部門の直行直帰を取り入れました。

当社は、産休・育休によるブランクや時間的制約など、本人の意欲や能力とは関係ない要因により、復職や昇進を諦める女性社員が多数いる自社の現状を省み、性別を問わず全ての社員が、仕事と子育てを両立できる環境、自律的なキャリア形成を考えることができる企業文化の醸成を目指しています。管理職における女性比率の向上につながるよう、業績を挙げ、昇進という選択肢を積極的に選ぶ女性社員が増える環境・サポート体制を推進しています。当社は、2021年1月に、2025年の女性管理職比率6%という目標を前倒して達成したため、現在の女性管理職比率6.2%から、2025年に10%、2030年には20%に引き上げるという新たな目標を設定しました。今後も、男性の育児休暇取得推進、計画的・継続的に組織を牽引する人材の育成強化を目的とした、管理職向けの「スポンサーシッププログラム」、役職問わず次世代のリーダーを育てることを目的とした「Female Next Leaders Program」といった育成研修プログラムや育児休業復職セミナーなどを実施していきます。当社は、持続可能な未来を実現するために「多様性の尊重」「地域社会」「資源」に焦点を当てたサステナビリティ・フレームワークの一環として、さらなるダイバーシティ&インクルージョンの推進に努めてまいります。

※ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。最新の情報と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。